



知人に勧められ70代に入って初めて栽培した。長方形の発泡スチロールの底を開けそのサイズに合わせて庭土を掘り起こし底を上にして被せ腐葉土を上面まで入れて苗を植え付けた。朝夕の水遣りを欠かさず続けた。こんな苗が育つのかと半信半疑だったが暫くするとしっかり育ち始め2メートル位になったところで芽を摘んで横に伸ばす準備を始めた。10cmマス3m×3mの網を張ったら順調に枝が張り始めた。

黄色い小花が咲き始め「うーんなかなかいいぞ」一人ほくそ笑んだ。半月に一回くらい施肥、あの苗がこんなにも言うくらいに育ち小さい実が生りだしたときはもう感動の一語に尽きる。子ども時代に返ったように毎日外に出るのが楽しみになった。

この苗を下さった知人に感謝している。自分の作ったものを自分が食する、人間本来の姿だろう。健康の証だ、その喜びを人に分かち笑顔が帰ってくる日々感謝の毎日だ